

芸術・文化を語る

① 6/15(土) (申込締切:5/15)

アーツシコクのこれ
までと今後の展開

石原佑

(NPO 法人 Arts Shikoku
代表理事)



1991年、徳島市生まれ。東京造形大学卒業後、都内及び海外でデザイナーとして活動。2018年より生まれ故郷の徳島でデザイン会社BLUEを創業。六本木AXIS、パンクバー美術館、神戸デザインセンターなど、国内外でデザインの発表、ワークショップを行っている。徳島大学高等教育研究センター特任助教。22年より小松島に世界水準のギャラリーを立ち上げることを目指すNPO法人「Arts Shikoku」を立ち上げ、徳島を拠点に活動する芸術家の支援も行っている。

② 7/27(土) (申込締切:6/27)

「追悼・森内俊雄
展」に寄せて

富永正志

(県立文学書道館館長)



1951年、阿南市生まれ。関西学院大学経済学部を卒業後、徳島新聞社に入社。文化部記者、社会部記者、共同通信社文化部(出向)、文化部長、論説委員長などを務め、2013年に退職。14年から県立文学書道館館長。文学書道館の本年度企画展「追悼・森内俊雄一眉山は救いの山である」(6月29日～9月29日)を企画・担当。著書に『徳島新聞コラム「鳴潮」』(論創社)、徳島ゆかりの作家と徳島大空襲の関係を論じた『空襲にみる作家の原点—森内俊雄と瀬戸内寂聴』(同)がある。

③ 8/17(土) (申込締切:7/17)

徳島から
創作の世界へ

京橋史織

(作家)



@新潮社

1972年、石井町生まれ。石井中学校、城ノ内高校を経て、お茶の水女子大学卒業。会社勤務のかたわら脚本を学び、第39回NHK創作ラジオドラマ大賞入賞。ラジオドラマや舞台の脚本を手がける。スイスへの転居をきっかけに小説執筆を始め、『午前0時の身代金』(新潮社)で第8回新潮ミステリー大賞受賞。近作に「二億円のレシピ」「最後の晩餐のレシピ」「クリスマスディナーの秘密」「ゴーストの墓参り」「カーテンの向こう側」「オイディプスの帯」「予備校チューターの事件日誌」など。

④ 9/21(土) (申込締切:8/21)

絵とともに生きる
日々

福田利之

(イラストレーター)



1967年、大阪生まれ。大阪芸術大学グラフィックデザイン学科卒業後、95年フリーランスでのイラストレーター活動をスタート。2005年、大阪から東京に事務所を移転。20年、東京、徳島の2拠点にアトリエを構える。スピッツのCDジャケットや町田そのこ『52ヘルツのくじらたち』、カズオ・イングロ『クララとお日さま』の装画、グラニフ、ユニクロなどのファッションブランドとのコラボなど、さまざまなジャンルの仕事を手がける。東京、大阪、札幌、神戸、福岡など各地で個展を開催。

定員 45人 (申込多数の場合は抽選)

時間 14:00～15:30 (受付 13:30～) 場所 文学書道館 2階講座室

【申込方法】

下記の項目をご記入のうえ、はがき、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。当館1階受付でも申し込み可能です。

・芸術・文化を語る ・受講希望の番号と講師名 ・郵便番号 ・住所 ・氏名(ふりがな)
・年齢 ・電話番号(中止などの緊急連絡に必要ですので必ずご記入ください)

※全回受講もできます。

〈申し込み・問い合わせ〉

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540

メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp